

教育委員会の事務の管理及び執行状況の

点検・評価報告書

(平成24年度分)

平成25年12月

豊前市教育委員会

平成 24 年度豊前市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価

- 豊前市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価（以下「点検・評価」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 27 条の規定に基づき実施するものです。

(参 考)

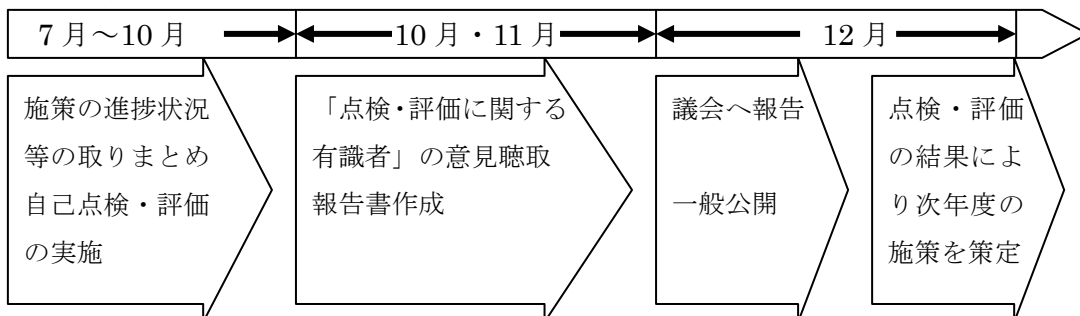
地方教育行政の組織及び運営に関する法律（関係条文抜粋）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

- 点検・評価は、前年度の事業を対象とします。
- 上記に関連する事業は、事務事業一覧表のとおりです。
- 点検・評価は、事業それぞれについて所管係が点検・評価シートを作成し、目的、内容、達成状況、事業の課題について検討した結果を総合的に判断し、A（期待以上）、B（期待どおり）、C（やや下回る）、D（期待以下）にわけて自己評価を行いました。
- 点検・評価については、教育に関し学識経験を有する第三者に外部評価をしていただきました。
- 点検・評価を行った後、その結果を取りまとめた報告書を豊前市議会（文教厚生委員会）に報告するとともに一般に公開します。
- 点検・評価の結果により、評価の高い事業は引き続き実施し、評価の低い事業は課題の解決や、見直しを検討していきます。

○ 点検・評価の流れ



豊前市教育委員会点検・評価事務事業一覧

大区分	中区分	小区分	事務事業	ページ
教育の振興	教育委員会	1 教育委員会の活動	1 教育委員会の活動	1～4
	就学前教育	2 楽しく充実した幼児教育	2 小・中・高校、幼稚園及び保育所の連携	5
			3 幼稚園就園奨励費補助事業	6
	学校教育	3 楽しく充実した学校	4 小規模校の教育活動の充実	7
			5 学校施設の機能更新	8
			6 特別支援教育総合推進事業の取組	9
			7 学力向上に向けた取組	10
			8 心の問題への対応	11
			9 指導者の育成	12
			10 効率化・安全性を考慮した学校給食	13
			社会教育	4 社会教育推進体制
	12 体験学習の推進	15		
	5 青少年教育	13 学社融合の推進		16
		14 地域との連携		17
		15 学習機会の提供		18
	6 社会人への支援	16 各種団体への支援		18
		17 地域情報発信事業		19
	7 公民館運営	18 施設の機能強化		19
		8 地域スポーツの振興		19 地域総合型スポーツクラブ事業
	9 レクリエーションスポーツの普及			20 指導者の育成
			10 施設の整備	21 体育施設の整備
	文化の高揚	文化財の保護と活用	11 文化財の整備と活用	22 国史跡「求菩提山」の整備
23 教育普及活動の推進				24
12 文化財の公開			24 施設の整備活用	25
			25 各種情報の発信	25
			26 関係団体の組織化	26
13 無形民俗文化財の伝承			27 伝承事業の展開	26
			14 人材育成	28 ガイドボランティアの支援
芸術文化の振興			15 芸術活動	29 複合施設の活用
		30 文化事業の実施、場の提供		29
		16 読書活動	31 市立図書館の充実	30
			32 学校図書館との連携	30
生涯学習		17 生涯学習体制	33 豊前市生涯学習推進計画	31
			18 情報の一元化	34 生涯学習プログラムの構築
		19 出前講座	35 市役所職員による出前講座の実践	33
			36 ボランティアの派遣	33

教育委員会

1 教育委員会の活動

【点検・評価シート 教育委員会】

		小区分	1	事務事業	1
施策名	教育委員会の活動				
事業名	教育委員会の活動	担当係	教育総務係		
事業の目的	地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、豊前市教育委員会を設置する。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・委員は5名であり、定例会、臨時会を開催し、議案、協議事項、報告事項等を審議する。 ・各行事、事業への参加。 ・研修への参加。 				
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会を13回、臨時会を4回開催し、議案21件、報告事項9件、協議事項9件を審議した。 				
	会議名	開催日	件名		
	第6回定例会	24.4.5	平成24年度豊前市立小中学校教職員人事について		
			平成24年度豊前市教育委員会人事について		
			平成24年度豊前市教育推進の基本構想について		
			前回会議録の報告について		
			教育長報告について		
			諸般の報告並びに協議事項について <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校における土曜日の授業の実施に係る留意点について ・平成24年度 豊前市教育委員会 事業計画について 		
	第7回臨時会	24.4.17	豊前市教育委員会教育長の選任について		
			豊前市教育委員会が所管する公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する要綱（案）について		
			前回会議録の報告について		
	第8回定例会	24.5.7	前回会議録の報告について		
			教育長報告について		
			諸般の報告並びに協議事項について		
	第9回定例会	24.6.5	豊前市教育委員会教育委員長の選挙について		

達成状況	第9回定例会	24.6.5	豊前市指定学校変更の許可及び区域外就学の承諾に関する 審査基準の一部改正について
			前回会議録の報告について
			教育長報告について
			諸般の報告並びに協議事項について ・平成24年度豊前市学校訪問実施要項について ・6月議会の一般質問について
	第10回定例会	24.7.5	前回会議録の報告について
			教育長報告について
			諸般の報告並びに協議事項について ・求菩提農村景観選定について ・6月議会の一般質問について
	第11回定例会	24.8.1	前回会議録の報告について
			教育長報告について
			諸般の報告並びに協議事項について ・児童生徒の推移について
	第12回定例会	24.8.31	平成24年度教育関係補正予算について
			平成23年度教育関係決算の認定について
			豊前市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部を改正 する規則の制定について
			前回会議録の報告について
			教育長報告について
諸般の報告並びに協議事項について ・適応指導教室について			
第13回定例会	24.10.5	前回会議録の報告について	
		教育長報告について	
		諸般の報告並びに協議事項について ・9月議会の一般質問について	
第14回臨時会	24.10.22	豊前市教育委員会教育委員長の選挙について	
		前回会議録の報告について	
第15回定例会	24.11.5	前回会議録の報告について	
		教育長報告について	
		諸般の報告並びに協議事項について ・豊前市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評 価報告書について	

達成状況			・平成 24 年度学力調査結果について
	第 16 回定例会	24. 11. 30	指定管理者の指定について
			平成 24 年度教育関係補正予算について
			前回会議録の報告について
			教育長報告について
			諸般の報告並びに協議事項について
	第 1 回定例会	25. 1. 8	豊前市教育委員会教育委員長の選挙について
			前回会議録の報告について
			教育長報告について
			諸般の報告並びに協議事項について
			・ 12 月議会の一般質問について
			・ 平成 24 年度豊前市学力向上推進会議の報告について
	第 2 回定例会	25. 2. 5	前回会議録の報告について
			教育長報告について
			諸般の報告並びに協議事項について
			・ 豊前市教育・文化功労者表彰について
		・ 小・中学校における土曜日の授業実施について	
		・ 中学校統廃合について	
		・ 幼稚園就園奨励費について	
第 3 回臨時会	25. 2. 8	豊前市立小中学校教職員の人事に関する事の教育長委任について	
		豊前市立小中学校教職員（管理職）人事の内申について	
		前回会議録の報告について	
第 4 回定例会	25. 2. 26	教育委員の辞職願に対する同意について	
		豊前市立小中学校管理規則の一部改正について	
		平成 24 年度教育関係補正予算について	
		平成 25 年度教育関係暫定予算について	
		前回会議録の報告について	
		教育長報告について	
諸般の報告並びに協議事項について			
		・ 中学校統廃合について	
第 5 回臨時会	25. 3. 18	豊前市教育委員会教育委員長の選挙について	
		前回会議録の報告について	
		諸般の報告並びに協議事項について	

達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校訪問（各種式典への出席等） ・ 学校以外における各種行事への出席。 ・ いじめ防止大会、成人式等の各種行事や教育委員研修会に出席。 ・ 入学式、卒業式、運動会等に参加し式典でのあいさつや学校関係者との懇談・意見交換等を行った。また、小中学校における研究発表授業の視察、学校訪問を実施し校内の視察や教育現場の意見を収集し、教育環境の向上を図った。 				
平成 24 年度 決算額(千円)	2, 276				
事業の課題	<p>教育行政の課題に対応するため定例会、臨時会等を開催し、滞りなく処理を行う。学校訪問による教育現場の実態把握をより一層努める。</p> <p>また、教育行政について活発な議論を行い、安全で安心な学校教育や市民の意向を反映した社会教育(スポーツ・文化)に関する施策に取り組む。</p>				
評 価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

就学前教育

2 楽しく充実した幼児教育

【点検・評価シート 就学前教育】

		小区分	2	事務事業	2
施策名	楽しく充実した幼児教育				
事業名	小・中・高校、幼稚園及び保育所の連携	担当係	学校教育係		
事業の目的	適正な進路の決定。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理士による就学相談や検査を行い、保護者と協議しながら適正就学指導委員会で審議し、保護者の意見を尊重しながら進路を決定する。 				
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 就学相談件数延べ32件。適正就学指導委員会での判定件数10件。 幼稚園、保育園、福祉施設と連携し、就学に不安を持つ保護者や、課題をかかえる幼児の保護者に働きかけを行い、就学相談を促すことにより不安を軽減し、専門家による助言をもとに、相談者（幼児・児童・生徒）の障害程度や教育的ニーズに応じた就学先決定を支援することができた。 就学先の学校への情報提供が早期に可能となり、入学後の対応がスムーズに行えた。 				
平成24年度 決算額(千円)	237				
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の取組みが、幼稚園・保育園ごとに差があり、特別に支援を要する幼児の情報共有や就学時を見据えた連携が不十分な場合がある。 				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

【点検・評価シート 就学前教育】

		小区分	2	事務事業	3																								
施策名	楽しく充実した幼児教育																												
事業名	幼稚園就園奨励費補助事業	担当係	教育総務係																										
事業の目的	<p>私立幼稚園の幼児教育の振興を図るため、私立幼稚園に就園する3歳児、4歳児、5歳児の保護者に対し入園料・保育料の減額措置を行う。</p> <p>この幼稚園就園奨励費については文部科学省の国庫補助金があり市の負担が軽減されている。</p>																												
事業内容	<p>・保護者の所得状況に応じて経済的負担を軽減し、公私立幼稚園間における保護者負担の是正を図る。</p>																												
達成状況	<p>対象者への補助限度額が引き上げられており、一層の負担軽減が図られている。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>・豊前幼稚園</td> <td style="text-align: right;">70人</td> <td>補助金</td> <td style="text-align: right;">5,887,400円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・椎田めぐみ幼稚園（築上町）</td> <td style="text-align: right;">4人</td> <td>補助金</td> <td style="text-align: right;">576,100円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>・めぐみ幼稚園（中津市）</td> <td style="text-align: right;">1人</td> <td>補助金</td> <td style="text-align: right;">49,800円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="3">・国庫補助金</td> <td style="text-align: right;">1,565,000円</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>					・豊前幼稚園	70人	補助金	5,887,400円			・椎田めぐみ幼稚園（築上町）	4人	補助金	576,100円			・めぐみ幼稚園（中津市）	1人	補助金	49,800円			・国庫補助金			1,565,000円		
・豊前幼稚園	70人	補助金	5,887,400円																										
・椎田めぐみ幼稚園（築上町）	4人	補助金	576,100円																										
・めぐみ幼稚園（中津市）	1人	補助金	49,800円																										
・国庫補助金			1,565,000円																										
平成24年度 決算額(千円)	6,513																												
事業の課題	<p>園児の人数が減少傾向にあるが、充実した幼児教育のため今後も継続して事業を進めていく。豊前市の保育園第3子以降無料化に伴い、幼稚園児も対象へ向けての協議を進めている。子育て支援の面からも導入する方向で取り組んでいきたい。</p>																												
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下																								

学校教育

3 楽しく充実した学校

【点検・評価シート 学校教育】

		小区分	3	事務事業	4
施策名	楽しく充実した学校				
事業名	小規模校の教育活動の充実	担当係	教育総務係		
事業の目的	小規模特認校制度を継続し、児童・生徒数の少ない学校での きめ細やかで特色ある教育に取り組み、児童・生徒数の増加を図る。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・加配教員の配置等により小規模校の活性化を図る。 ・PRの実施。小中との合同行事や、地域住民の参加行事を増やし地域との繋がりを深める。 				
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・学校間での児童数による格差（複式学級等）を解消するため、小規模校へ非常勤講師を配置している。 ・大村小学校、合岩小学校の児童数の減少が著しいため、平成 21 年度に通学区域審議会を開催し、2校を小規模特認校とし、平成 22 年度から募集を開始した。平成 23 年度に合岩中学校を追加した。各学校の特色を生かした教育を展開し、児童・生徒数の増加を図る。 ・初めての取組で5月に合岩小・中学校の合同運動会を開催し、クラスを超えた縦割りの共同教育活動を実施できた。 				
平成 24 年度 決算額(千円)	4, 5 5 8				
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒数の減少による学校間の格差や保護者の不安感。 ・人材確保。 ・中学校の小規模校では、部活動が充実していない、人間関係が固定するなどを心配する声が聞かれる。 				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

【点検・評価シート 学校教育】

		小区分	3	事務事業	5
施策名	楽しく充実した学校				
事業名	学校施設の機能更新	担当係	教育総務係		
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校施設の修理・修繕 ・昭和 56 年以前の建築基準法で建てられた建物の耐震改修工事 ・耐震補強及び長寿命化大規模改修 				
事業内容	昭和 50 年代頃の児童・生徒急増期に建設された校舎が一斉に老朽化しているため、修理・修繕を行う。また、昭和 56 年以前の建築基準法で建てられた建物の耐震性能を診断し、耐震補強を中心に改修を進める。				
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の修理・修繕は学校からの連絡等により適宜行っている。また、長期休みを利用し営繕に取り組んでいる。 ・八屋小学校の耐震補強工事、老朽化で使いづらかったトイレのリニューアルと危険な外壁の改修工事を実施した。これにより、文部科学省が指定する施設の構造耐震化が全て完了した。 ・千束中学校の校舎は築後 30 年以上を経過し、老朽化により屋上の漏水や外壁改修と、トイレの改善も必要なことから、今年度に改修工事設計を実施した。 				
平成 24 年度 決算額(千円)	・八屋小学校改修工事	140,290			
	・千束中学校改修設計	4,743			
	・小学校修繕費	15,191			
	・中学校修繕費	7,744			
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の老朽化に伴う修理・修繕費の増大。 ・騒音や振動が発生する工事は、長期休業中でなければ学校側の理解が得られにくい。時期が限られるため休業中に完了するのは調整がかなり難しい。 ・学校施設は洋式トイレが少なく老朽化しているため、利用に抵抗感のある児童・生徒も多くなっている。今後は床仕上げを乾式※とし、節水型トイレへの変更、洋式トイレの増設などの改修が必要である。 ・照明設備が学校建設当初からのものがほとんどで、照明器具の劣化や消費電力が大きいことから、今後は LED 照明に移行していく必要がある。 				
評価	A	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

※「乾式」とは、床仕上げをタイル系からシート系に変えることで、モップ掛け等ドライな清掃方法となり衛生面で清潔なトイレとなる。

【点検・評価シート 学校教育】

		小区分	3	事務事業	6
施策名	楽しく充実した学校				
事業名	特別支援教育総合推進事業の取組	担当係	学校教育係		
事業の目的	特別支援教育は、障害のある幼児・児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導や必要な支援を行うものであり、その体制整備の推進のため特別支援教育を総合的に推進する。				
事業内容	市内の巡回相談対象児童生徒に対し、臨床心理士による心理支援と築城特別支援学校の教員による学習支援により、一人ひとりの障害の状態や特性に応じたきめ細かな指導を図る。				
達成状況	巡回相談対象校においては、臨床心理士、医師、特別支援学校教員による巡回相談により、特別支援を要する児童・生徒の実態把握や具体的な支援方法等について学び、支援体制を固めることができた。				
平成24年度 決算額(千円)	220				
事業の課題	今年度より県委託金がなくなり市単独での実施をしている。特別な支援を必要とする児童・生徒は増加傾向にあり、巡回相談・指導に対するニーズは更に高まっている。 更に、県は幼稚園・保育園等への支援も行うことを推進しているため、更なる事業の充実をしていかなければならない。				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

【点検・評価シート 学校教育】

		小区分	3	事務事業	7	
施策名	楽しく充実した学校					
事業名	学力向上に向けた取組	担当係	学校教育係			
事業の目的	新学習指導要領の全面実施に伴い、教育課程の適正な管理に取組み、児童・生徒に学習の量と質を保障する。					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の学力実態を多面的に把握し、指導方法の改善に生かすために国・県レベルの学力テストに加えて、標準学力検査も予算化し実施する。 教育委員会の研究指定校制度（指定期間は2ヶ年で毎年小学校2校、隔年中学校1校が発表会をするようにローテーションを組んでいる）を実施し、校内研究を計画的・継続的に推進し、研究成果を公開することで、児童生徒が基礎・基本を確実に身につけ、自ら学び自ら考える力を育み、確かな学力を育成することができるようにする。 					
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 学力・学習状況調査の結果、本市小学校算数A、社会Aは全国平均とほぼ同様の正答率、国語A（知識）・B（活用）、算数B、社会B、理科A・Bは全国平均をやや下回る正答率、中学校数学A・B、理科A・B、社会B、英語Aは全国平均をやや上回る正答率、国語B、社会A、英語Bは全国平均とほぼ同様の正答率、国語Aは全国平均をやや下回る正答率であった。 今年度の研究指定校の発表内容は、黒土小学校の算数科、宇島小学校の国語科、千束中学校の全教科学習指導であった。3校とも前学級の授業を公開し、豊前市のみならず京築管内小中学校に向けて成果を発表することができた。 					
平成24年度 決算額(千円)	小学校	902	中学校			899
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> 市町間・学校間の序列化や、過度の競争につながるおそれがある平均正答率等の数値、個々の学校名についての公表は行っていない。各学校間では、自校の傾向、成果と課題について検討・協議し、作成している学力向上プランの修正・見直しを行い、今後の教育活動に生かす。 研究発表会後に課題を整理し、各校の児童・生徒の実態と照らし合わせることで、次年度の実践に生かす。 					
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下	

【点検・評価シート 学校教育】

		小区分	3	事務事業	8
施策名	楽しく充実した学校				
事業名	心の問題への対応	担当係	学校教育係		
事業の目的	相談窓口の充実				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「いじめ」や「不登校」などの諸問題に対しては、教職員の指導力強化及び家庭との連携の充実を図る。 ・ 適応指導教室を継続 ・ 相談窓口として教育相談室にカウンセラーの配置（6日／月） ・ 県費による各中学校へのスクールカウンセラーの配置 				
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ カウンセラーと各学校教職員との連携による「いじめ」や「不登校」等への対応力、指導力向上が図られている。 ・ 教育相談室では、子育てや子どもの発達状態等で不安を抱える保護者（主に母親）がとぎれることなくカウンセリングを受けている。相談件数は年間318件であった。 ・ 不登校児童生徒の居場所及び学校への復帰準備の場として、適応指導教室が貴重な受け皿となっている。 ・ 各中学校の生徒は、スクールカウンセラーが派遣された日の相談件数が増加している。 				
平成24年度 決算額(千円)	適応指導教室（嘱託） 3, 192 カウンセラー 2, 592				
事業の課題	相談の時期が重なり順番を待たなくてはならない時があるため、相談日を増やす等の対応が必要。 県のスクールカウンセラー派遣の時間数が削減されようとしている。				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

【点検・評価シート 学校教育】

		小区分	3	事務事業	9
施策名	楽しく充実した学校				
事業名	指導者の育成	担当係	教育総務係		
事業の目的	子どもの「生きる力」を育み楽しく充実した教育を推進する。個性や価値観を尊重し互いを認め合う心や社会の変化に的確にかつ柔軟に対応できる力など、人間性豊かでたくましい子どもたちを育成する学校教育内容を充実させる。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活において支援が必要な児童・生徒の適切な就学、コンピューター教育、英語教育について、支援を行う補助員の配置などを整備する。 				
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な児童・生徒には学校生活支援員を配置し、学校生活に支障がないよう配慮している。平成 24 年度は小中学校に 14 人の支援員を配置した。 ・コンピューター教育は、各小中学校のパソコン教室にパソコンを配置している。小学校のパソコン入替えを実施し、また ICT※サポーターを派遣することで教育指導者の育成と授業のしやすい環境を整えた。 ・英語教育は、小学校には 2 名の非常勤講師、中学校には 1 名の外国語指導助手を配置している。 				
平成 24 年度 決算額(千円)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校 英会話講師 学校生活支援員 パソコンリース ・中学校 外国語指導助手 学校生活支援員 パソコンリース 	4, 1 5 7	1 0, 9 7 7	1 4, 5 4 4	4, 6 9 5
			1, 0 4 7	8, 1 9 4	
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・PC 導入機器の経年劣化を解消するため計画的な更新及び教育用ソフトの更新も必要。ICT サポーターを活用し、普通教室での ICT 授業※も率先して取り組む。 ・学校では多様な支援を必要とする児童・生徒が増加している。また、平成 23 年度から小学校の 5、6 年生に週 1 時間の英語が必修化された。英会話指導補助員の配置による効果が求められる。 				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

※「ICT」とは、情報処理や通信に関する技術を総合的に指す用語。

※「ICT 授業」は、学校の各教科授業でパソコン等を利用してインターネット情報を活用する教育指導方法のこと。

【点検・評価シート 学校教育】

	小区分	3	事務事業	10
施策名	楽しく充実した学校			
事業名	効率化・安全性を考慮した学校給食	担当係	学校教育係	
事業の目的	おいしく栄養面を考慮した献立。			
事業内容	地産地消を図る。			
達成状況	<p>地元産米を完全使用し、平成21年度から米飯を週4回実施。</p> <p>地場産食材活用推進協議会（農林水産課・小中学校長代表・学校栄養職員・調理員・JA等で構成）、献立委員会（学校、調理員等で構成）を年3回設け意見・情報交換を行っている。</p> <p>毎月、地場食材の日は旬の地場野菜を取り入れている。</p> <p>地場産農林水産物（主食・牛乳を除く）利用状況、平成24年度13.3%全ての食物アレルギー対象児童に対応食を実施。</p>			
平成24年度 決算額(千円)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校 113,712 ・中学校 45,576 			
事業の課題	<p>食物アレルギーのため除去食対応の児童生徒が増加傾向にあり、個々に対応した給食の提供をするための人員が必要である。</p> <p>定年退職等により給食調理員が減少し、補充も無いことから、今後の給食供給体制を早急に見直す必要がある。</p>			
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る D 期待以下

社会教育

4 社会教育推進体制

社会教育体制の確立は、長期的視野に立った取組が必要であることから、社会教育主事の育成を推進します。

【点検・評価シート 社会教育】

		小区分	4	事務事業	11
施策名	社会教育推進体制				
事業名	社会教育主事の活用と育成	担当係	社会教育係		
事業の目的	社会教育事業推進のため専門知識を有する人材を育成しその推進に努める。				
事業内容	文部科学省が実施する社会教育主事講習の受講。				
達成状況	社会教育主事の育成を推進している。				
平成24年度 決算額(千円)	社会教育主事講習旅費 7/18日～8/10日 142 主事講習負担金 28				
事業の課題	社会教育主事の活用				
評価	A	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

5 青少年教育

体験学習事業、子どもセンターの開設、子ども会育成活動への支援を行っています。

【点検・評価シート 社会教育】

		小区分	5	事務事業	12
施策名	青少年教育				
事業名	体験学習の推進	担当係	社会教育係		
事業の目的	自然体験活動を通して子ども達の生きる力を育む。				
事業内容	通学合宿やぶぜん自然体験塾、体験活動を通して生活習慣を身に付け、豊かな人間性や生きる力を身につけさせる。				
達成状況	通学合宿については平成24年度に1地区増え7地区で実施。 野外体験活動は年2回実施。両体験事業に参加した児童が豊前市ジュニアリーダークラブに関心を示し入部希望者が多数あった。				
平成24年度 決算額(千円)	(県費助成事業) 通学合宿推進事業 山田公民館100 横武公民館100 合河公民館100 ぶぜん自然体験塾事業については、豊前市子ども夢応援事業補助金を活用 132				
事業の課題	体験学習の必要性和活用				
評価	A	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

【点検・評価シート 社会教育】

		小区分	5	事務事業	13
施策名	青少年教育				
事業名	学社融合の推進	担当係	社会教育係		
事業の目的	学校教育と社会教育の融合により、子ども達へ質の高い学習を提供する。				
事業内容	総合的な学習の時間や地域の人材を生かした内容について、はつらつ活動拠点事業による学校での書道ボランティア派遣や、夏休み簡単手作り講座等でのボランティア派遣を行っている。				
達成状況	<p>学童（9校）に対してリサイクルセンターで夏休み簡単手作り講座を実施し、ボランティア派遣を行った。講座内容としては、エコ織コースター作り、紙すきを実施。また、同和福祉センターで夏休み工作教室を実施し、ボランティアを派遣した。講座内容はうちわ作り、エコ織コースター作り、コラージュ、フレーム作り（コラージュのもの）。</p> <p>市内8校に対して書道ボランティアの派遣を実施した。</p>				
平成24年度 決算額(千円)	721（県費助成事業）まなびの杜全体の補助額				
事業の課題	<p>学校へのボランティア派遣は、受け入れ側とボランティアの意思疎通が大切。受け入れ側の理解が必須条件となりコーディネーター役が必要となる。コーディネーター役としては受け入れ側とボランティアの意思疎通のみならず、ボランティア同士の情報共有を図る上でのコーディネートが必要。</p>				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

【点検・評価シート 社会教育】

		小区分	5	事務事業	14
施策名	青少年教育				
事業名	地域との連携	担当係	社会教育係		
事業の目的	家庭教育の向上、地域教育力の活用を目指す。				
事業内容	家庭教育推進協議会を設置し、学校との連携で家庭教育講座を実施。また、青少年育成市民会議との共催で子育て中のママ・パパのためのコミュニケーションセミナーを4回実施。				
達成状況	入学準備会時に市内小学校10校で、家庭教育の大切さを伝えた。コミュニケーションセミナーは、参加募集に苦慮したが、アンケート結果では大変好評で、再度セミナーを開いて欲しいという要望が多かった。				
平成24年度 決算額(千円)	235				
事業の課題	事業を継続するために学習プログラムの構築が必要となる。				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

6 社会人への支援

男女共同参画センターとしてのハートピアぶぜん、青少年ホームでの勤労者学習支援事業、高齢者大学による学習支援などを行っています。

【点検・評価シート 社会教育】

		小区分	6	事務事業	15
施策名	社会人への支援				
事業名	学習機会の提供	担当係	社会教育係		
事業の目的	市民のニーズに合わせた社会人への学習機会の提供。				
事業内容	ハートピアぶぜん（働く婦人の家）、青少年ホームなどでの講座の実施。				
達成状況	ハートピアぶぜん（働く婦人の家）で、14講座、青少年ホームで8講座を実施。その他特別講座なども実施。				
平成24年度 決算額(千円)	ハートピアぶぜん（働く婦人の家）	8,495			
	青少年ホーム	8,540			
事業の課題	「男女がともに輝くまちぶぜん」を実現するために教養を高め、余暇を利用して趣味やレクリエーションの講座を実施、男女共同参画センターとしての「心の相談」窓口を開設している。より多くの方の利用が望まれる。				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

【点検・評価シート 社会教育】

		小区分	6	事務事業	16
施策名	社会人への支援				
事業名	各種団体への支援	担当係	社会教育係		
事業の目的	社会教育団体との連携を通じて社会教育事業の推進を計る。				
事業内容	子ども会連合会、JLクラブ、青少年育成市民会議、PTA連合会、青年団、ボーイスカウト、育成会など各社会教育団体への支援。子ども夢応援事業の実施。				
達成状況	各団体で独自に事業を実施。				
平成24年度 決算額(千円)	2,879				
事業の課題	事業内容のマネリ化による活動の停滞を活性化させる必要がある。				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

7 公民館運営

異世代間交流の促進や地域コミュニティ、情報発信基地としての見直しを行い幅広い業務の展開を目指し、施設の機能強化を図ります。

【点検・評価シート 社会教育】

		小区分	7	事務事業	17
施策名	公民館運営				
事業名	地域情報発信事業	担当係	社会教育係		
事業の目的	情報発信基地としての機能強化				
事業内容	ダイレクトな地域情報の発信拠点として、公民館施設を活用する。				
達成状況	H22年に「豊前市生涯学習推進基本計画」の策定を行い、H23年度生涯学習推進協議会を立ち上げた。公民館の活性化について協議し、地域づくりの拠点として、地域活性化事業を進めている。				
平成24年度決算額(千円)	公民館の活性化については、特に予算化はしていない。				
事業の課題	先々では、市内12の公民館については、コミュニティセンターとして一部指定管理も選択肢に含め、検討する。				
評価	C	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

【点検・評価シート 社会教育】

		小区分	7	事務事業	18
施策名	公民館運営				
事業名	施設の機能強化	担当係	社会教育係		
事業の目的	地域の拠点施設としてコミュニティを含めた施設運営を図る。				
事業内容	公民館を地域の活動拠点として活性化するため、社会教育施設としてだけでなく、福祉、子育て、防災などに対応できるシステムを構築する。				
達成状況	H22年に「豊前市生涯学習推進基本計画」策定を行い、H23年度生涯学習推進協議会を立ち上げた。 千束公民館については、内装・トイレ・空調設備改修を、宇島公民館については、空調設備改修を行った。				
平成24年度決算額(千円)	合計12,057 (千束・宇島公民館改修費)工事費11,034 設計管理委託1,023				
事業の課題	公民館の老朽化にともなう大規模改修、耐震診断を行う。次年度以降に千束公民館の外装、八屋・中央公民館施設の機能、整備充実に努める。				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

スポーツ・レクリエーション

8 地域スポーツの振興

スポーツ人口の底辺拡大、競技スポーツにおける一貫した指導体制の確立などを目指します。

【点検・評価シート スポーツ・レクリエーション】

		小区分	8	事務事業	19
施 策 名	地域スポーツの振興				
事 業 名	地域総合型スポーツクラブ事業	担当係	社会教育係		
事業の目的	地域でのスポーツ活動の推進を行う。				
事業内容	地域総合型スポーツクラブとして「ぶぜんピープルズ」の活動を支援。				
達成状況	現在、教室は14種目19教室、会員数約328名。				
平成24年度 決算額(千円)	総合型地域スポーツクラブ活動支援事業補助金1,000				
事業の課題	<p>独立運営を目指すには活躍できる人材が圧倒的に不足し、さらに会員数の増減にも波があり、収入面で安定していない。このため、「ぶぜんピープルズ祭り」で、広報活動の充実による新規会員の獲得、独自の新規事業などによる自主財源の確保など、財政面での充実が必要である。</p> <p>また、H24年度スポーツ振興基本法が、約半世紀ぶりに全部改正され、スポーツ基本法が制定、初めて「スポーツ権（スポーツをする権利）」が、明文化されている。これにより、総合型地域スポーツクラブが担う役割もさらに大きなものとなった。現在、ジュニアから高齢者までを網羅した生涯スポーツの一角を担っているが、これに障がい者スポーツにも取り組む方向性もうちだされた。このため、福祉課、市民健康課、社会福祉協議会や各障がい者団体との連携を深めていきたい。</p>				
評 価	C	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

9 レクリエーションスポーツの普及

スポーツ推進委員など指導者の育成と組織化を進めていきます。

【点検・評価シート スポーツ・レクリエーション】

		小区分	9	事務事業	20
施策名	レクリエーションスポーツの普及				
事業名	指導者の育成	担当係	社会教育係		
事業の目的	高齢化社会であることから、生涯スポーツの普及を通して地域住民の健康増進を図る。				
事業内容	スポーツ推進委員など指導者の育成、総合型地域スポーツクラブ「ぶぜんピープルズ」の事業実施に伴う指導者の開拓を行う。				
達成状況	スポーツ推進委員の研修会を開催し、指導者の技術の向上に努めている。ぶぜんピープルズ指導者部会を開催し、多種多様な競技種目間で情報交換を行い、指導者間の連携を図っている。				
平成24年度 決算額(千円)	379				
事業の課題	スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブ、各種スポーツクラブなど既存の指導者の研修を行い指導者の育成及び技術的な向上を図る。その上で若手指導者の掘り起こしが、必要である。				
評価	C	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

10 施設の整備

公園型スポーツ広場などの整備を目指します。

【点検・評価シート スポーツ・レクリエーション】

		小区分	10	事務事業	21
施策名	施設の整備				
事業名	体育施設の整備	担当係	社会教育係		
事業の目的	市民スポーツ推進のため、必要な施設の整備を行う。				
事業内容	能徳運動施設関係施設の整備。				
達成状況	能徳運動広場駐車場整備工事				
平成24年度 決算額(千円)	能徳運動広場駐車場整備工事 6, 174				
事業の課題	今後とも計画的な、整備が必要。				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

文化財の保護と活用

11 文化財の整備と活用

文化財を活用した教育普及活動は最も重要な施策で、求菩提資料館や各種講演会、学校への出前歴史授業、出版物での紹介などを行っています。

【点検・評価シート 文化財の保護と活用】

		小区分	11	事務事業	22
施策名	文化財の整備と活用				
事業名	国史跡「求菩提山」の整備	担当係	文化芸術係		
事業の目的	国史跡の活用を行うため、主要な参道の整備（ルート整備）を実施し、見学者の安全と利便性を図る。整備を進めるため市を管理団体とするか国史跡指定地の公有化を進め、また、求菩提地区の文化的景観の保護推進を実施する。				
事業内容	国史跡「求菩提山」ルート整備等				
達成状況	国史跡整備事業ではルート整備の一環として「五窟の道」修復工事の実施設計と、今後の史跡整備・保存管理に活用するため指定地域内の植生調査を実施した。また豪雨被害の災害復旧事業として求菩提地区の参道沿いの石垣復旧事業を実施した。文化的景観については、前年度内に文化庁へ選定申出を実施していたが、名称を「求菩提の農村景観」として正式に重要文化的景観に選定された。				
平成24年度決算額(千円)	国史跡整備事業 5,986、土地公有化に関する調査委託・手数料計 428（文化財保護費から）文化的景観保護推進事業 6				
事業の課題	専門性を要し長期にわたる事業であるため、専任の担当者が必要。また、今後の整備のために市が管理団体となるべく地権者の同意取得を進めたが、一部の同意を得られず停滞した状況である。そこで同時に国史跡の公有地化の方を進めるため境界復元や立木調査に着手しているが、この分野も専任の担当者が必要。文化的景観保護推進事業については選定がなされた直後であり、まだ具体的な活動には至っておらず、早急に組織化など保護推進の方針を決める必要がある。				
評価	C	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

【点検・評価シート 文化財の保護と活用】

		小区分	11	事務事業	23
施策名	文化財の整備と活用				
事業名	教育普及活動の推進	担当係	文化芸術係		
事業の目的	文化財を一般に公開することにより地域の歴史に対する理解を深め、ひいては文化財愛護精神の高揚並びに、地域文化の再認識につなげる。				
事業内容	求菩提資料館の常設展での修験道文化の紹介や企画展の開催、出前歴史教室の実施により埋蔵文化財を通じて地域の歴史の理解を促す。文化施設整備事業で整備した展示設備を有する埋蔵文化財センターを一般公開し、校外学習や学童保育、職場体験学習などでの活用を進めている。				
達成状況	単年度としては概ね達成している。				
平成24年度決算額(千円)	求菩提資料館の管理費は16,192(求菩提資料館の展示にかかる経費は資料館管理費に含まれるため区別が難しい)。出前歴史講座は職員が講師を務めるため経費は生じていない。埋蔵文化財センターについて詳細は「文化財の公開」施策参照。				
事業の課題	有形の民俗資料の収蔵・展示設備が必要。無形民俗文化財に関しては多目的文化交流センターの展示設備があるが、今後関係資料(無形民俗文化財の衣装道具類など)の寄贈が生じた場合の収蔵・公開場所も課題。				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

12 文化財の公開

市内中心部に展示施設を併設した施設を整備し、さまざまな情報の提供を行います。

【点検・評価シート 文化財の保護と活用】

		小区分	12	事務事業	24
施策名	文化財の公開				
事業名	施設の整備活用	担当係	文化芸術係		
事業の目的	調査収集した文化財資料の公開で、市民に対し地域の歴史に対する理解を促し、ひいては地域の再評価と地域コミュニティ構築の一助とする。				
事業内容	埋蔵文化財センターの活用促進のため、求菩提資料館とも連携して史跡ガイドボランティアの研修を行い、センターにおいてもガイドボランティアが活動できるよう養成を進めた。				
達成状況	24年度の入館者数は2,219人。				
平成24年度決算額(千円)	総合文化施設費 52,700のうち埋蔵文化財センター関連経費 1,163(光熱水費など3館共通経費以外の維持管理費のみ)				
事業の課題	文化施設3棟の中では最も小規模で入館者数の少ない施設だが貴重な地域の文化財を保管しており、企画展などで活用を促す必要がある。求菩提資料館とも連携し、施設相互に見学者の流れが出来ることを目標にする。				
評価	C	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

【点検・評価シート 文化財の保護と活用】

		小区分	12	事務事業	25
施策名	文化財の公開				
事業名	各種情報の発信	担当係	文化芸術係		
事業の目的	豊前市内の文化財の情報を、インターネットや冊子資料を通して外部へ発信し、全国に豊前市をPRする。また豊前市のイメージ作りと、観光客への情報提供の手段とする。				
事業内容	公式ホームページを活用し民俗芸能情報や指定文化財の紹介をインターネットで配信するほか、紙媒体(ガイドブック等)についても活用する。				
達成状況	公式ホームページに当年度の神楽奉納日程情報などの民俗芸能情報や指定文化財の紹介を掲載。多目的文化交流センターの豊前市、京築地域の民俗芸能に関する展示コーナーでは映像資料の閲覧を実施している。				
平成24年度決算額(千円)	特別に予算化はしていない。				
事業の課題	神楽の奉納日程・奉納場所アクセス情報など、より詳細な内容が求められている。『軍師官兵衛』に関する豊前市の観光誘致活動に文化財分野での協力連携も要する。				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

13 無形民俗文化財の伝承

新たな体制整備を行い、支援体制の確立を目指します。

【点検・評価シート 文化財の保護と活用】

		小区分	13	事務事業	26
施策名	無形民俗文化財の伝承				
事業名	関係団体の組織化	担当係	文化芸術係		
事業の目的	伝承団体相互の連携を強めることで、伝統芸能伝承の一助とする。				
事業内容	豊前岩戸神楽保存会の運営、ほか				
達成状況	例会において各神楽講で情報交換し、民俗芸能調査の依頼や京築アメニティ関連イベントなどの出演依頼に関する業務を円滑に行う。				
平成24年度決算額(千円)	特に定期的な予算化はしていない。24年度は「豊前神楽祭り」の実行委員会補助金として2,000				
事業の課題	神楽以外の民俗芸能についても組織化、助成を進める必要がある。				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

【点検・評価シート 文化財の保護と活用】

		小区分	13	事務事業	27
施策名	無形民俗文化財の伝承				
事業名	伝承事業の展開	担当係	文化芸術係		
事業の目的	伝統芸能の伝承を通じて地域コミュニティーの構築に寄与し、地域の伝統文化の継承の一助とする。				
事業内容	様々な助成事業などを通じ伝承事業の支援を行う。具体的には事前に保存団体の状況を把握し、市の助成金制度や他団体の制度を紹介しながら、必要な支援を行う。				
達成状況	伝統芸能団体の広報関連業務や装束・道具類の作成・修理などを助成対象とする。24年度は文化庁の「地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」を利用し宇島祇園の祇園車修復および『豊前市の文化財』の改訂版編集の事業の2年次（豊前市文化財保存活用事業。実行委員会形式）その他の伝統芸能に関しては補助金交付申請が無かった。				
平成24年度決算額(千円)	豊前市文化財保存活用事業の市補助は発生しなかった（国庫補助（2年次3,128）対象は実行委員会）				
事業の課題	事業の継続、補助基準の整備				
評価	B	A期待以上	B期待どおり	Cやや下回る	D期待以下

14 人材の育成

ガイドボランティアについて更なる充実を求め、外部からの来訪者に対して均質的なサービスの提供を目指します。

【点検・評価シート 文化財の保護と活用】

		小区分	14	事務事業	28
施策名	人材の育成				
事業名	ガイドボランティアの支援	担当係	文化芸術係		
事業の目的	官民協働を推進し、地域の人材を活用して活性化を図る。				
事業内容	求菩提資料館を拠点として、史跡を紹介するガイドボランティアの支援。				
達成状況	一般見学者向けや学校の校外学習等での史跡ガイド要請への対応の他、求菩提資料館の年2回の企画展やミニ企画展時の展示替え、館内巡回その他イベントの作業等、スキルアップのための研修に参加。				
平成24年度 決算額(千円)	特に予算化はしていない。豊前市自然と文化財を守る会からボランティア保険料など補助するほか、市マイクロバスを利用した外部研修などの協力を行っている。				
事業の課題	メンバーの高齢化が進んでいるため、新たな人材の確保と育成が急務。また、埋蔵文化財センター、多目的文化交流センターという文化財展示設備を有する新たな文化施設を含めたプログラムも構築していく必要がある。ボランティアガイドには森林セラピー事業や、文化財に限らない観光面での需要もあり、従来の文化財ガイド業務の水準を保ちつつ活用の場を広げるためにも、実働可能なメンバーの確保が急がれる。				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

芸術文化の振興

15 芸術活動の支援

文化施設の整備、活動環境の整備を行い文化活動の推進を図り、参加による体験を通じた芸術文化の振興を行います。

【点検・評価シート 芸術文化の振興】

		小区分	15	事務事業	29
施策名	芸術活動				
事業名	複合施設の活用	担当係	文化芸術係		
事業の目的	多目的文化交流センターの活用と、老朽化した市民会館の改善対策を行い、市民に上質な文化芸術のサービス提供を行い、心豊かな市民生活形成の一助とする。				
事業内容	多目的文化交流センターを、市民会館と共に文化活動の拠点とする。				
達成状況	多目的文化交流センターは県民文化祭、市美術展、京築地域の神楽の定期公演、京築神楽と食の祭典等、京築地域を含め、主に不特定多数の出入りを見込んだイベントの会場となり、音楽、舞踊や軽スポーツ、集会など利用目的の幅も広がっている。市民会館も施設の使い分けの影響か利用数はやや減少傾向だが、定着した利用者層が存在する。				
平成24年度決算額(千円)	市民会館費 11,851、総合文化施設費決算額 52,700 のうち多目的文化交流センター維持管理経費 9,993 (光熱水費など3館共通経費を除く)				
事業の課題	今後の活用促進と施設の更なる充実が課題となる。固定座席のホールを有する市民会館と、仮設舞台など用いた幅広い利用が前提の多目的文化交流センターとで企画の内容に応じて使い分けている。市民会館はバリアフリー設備不足に加え著しい老朽化が問題。				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

【点検・評価シート 芸術文化の振興】

		小区分	15	事務事業	30
施策名	芸術活動				
事業名	文化事業の実施、場の提供	担当係	文化芸術係		
事業の目的	芸術文化の振興を通じて、豊かな市民生活形成の一助とする。				
事業内容	自主文化事業、子ども文化事業の実施、県民文化祭への参加、豊前市文化協会の支援、豊前市美術展の開催、文化体験プログラムなどの文化事業。				
達成状況	自主文化事業（コンサート・映画上映会）、子ども文化事業（映画、体験型コンサート）、県民文化祭（市内ジャズバンドグループ・中高校吹奏楽部の共演舞台）、豊前市文化協会の支援、第10回豊前市美術展、芸術鑑賞機会提供事業などの実施。				
平成24年度 決算額(千円)	芸術文化振興費 8,328（内、実行委員会などに対する補助 2,000 を含む）				
事業の課題	活動拠点である市民会館が老朽化しているため、対策を要する。多目的文化交流センターで県民文化祭、美術展を実施する等、事業により活用する施設を振り分けて役割分担を進める。				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

16 読書活動

図書館の充実、学校図書館の支援、ボランティア活動の支援をしていきます。

【点検・評価シート 芸術文化の振興】

		小区分	16	事務事業	31
施策名	読書活動				
事業名	市立図書館の充実	担当係	文化芸術係		
事業の目的	市立図書館をのより一層の図書館サービスの充実を図る。				
事業内容	市立図書館と移動図書館車の活用を行う。				
達成状況	来館者数10万人、貸出者数3万人(前年度比3.7ポイント増)、貸出冊数13万8千冊(前年度比6.1ポイント増)である。祝日開館も年間を通じて定着した。				
平成24年度決算額(千円)	総合文化施設費のうち、指定管理委託料 20,348				
事業の課題	市立図書館の今後の有効活用、事業展開、読書推進活動を行う団体等との関係構築などが課題となっている。会議室など施設内の設備の活用も増やすためさらなる周知化が必要となる。				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

【点検・評価シート 芸術文化の振興】

		小区分	16	事務事業	32
施策名	読書活動				
事業名	学校図書館との連携	担当係	文化芸術係		
事業の目的	学校と市立図書館を連携させることで読書推進に寄与し、資料の共有活用に努める。				
事業内容	団体貸出の推進。学校教育活動に対する資料提供、協力。				
達成状況	市立図書館の指定管理者制導入後、団体貸出のみ継続。その他の活動推進は現時点では係で担当。				
平成24年度決算額(千円)	平成20年度より図書館業務は指定管理者制度を導入。読書活動推進については特に予算化していない。前年度の図書館マスタープラン、図書選定基準の改定に続き、豊前市子ども読書推進計画も改訂更新した。				
事業の課題	平成20年度より指定管理者制の導入でサービス維持が課題。また、市立図書館および学校図書館の活用促進のため、各学校を拠点として活動する読書推進ボランティアグループとの連携がより重要となってきている。小学校の方では学校図書館司書の人員配置を進めていて、連携を強化する契機として活用が望まれる。				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

生涯学習

17 生涯学習体制

職員に対し意識の徹底を図り、市民への情報提供を行います。

【点検・評価シート 生涯学習】

		小区分	17	事務事業	33
施策名	生涯学習体制				
事業名	豊前市生涯学習推進計画	担当係	社会教育係		
事業の目的	地域の課題解決のため、学習プログラムの構築、生涯スポーツの推進、公民館の活性化、地域の力を活かすを重点目標に事業を実施。				
事業内容	H22年に生涯学習基本計画の策定を行い、「豊前市生涯学習推進基本計画」に沿って豊前市生涯学習プログラムを市内全戸配布、生涯学習推進協議会を立ち上げ具体的な事業実施について協議を行い、併せて計画概要版を関係施設に配布し、その周知に努めた。				
達成状況	生涯学習推進本部での報告を通じ、全庁的な取り組みとして推進すべく情報の共有と方向性の確認を行い、次年度の具体的な事業実施につなげることができた。				
平成24年度 決算額(千円)	69				
事業の課題	豊前市生涯学習推進基本計画の更なる具現化				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

18 情報の一元化

情報を一元化し、生涯学習センターなどと連携して活動の場、交流の場を確保します。

【点検・評価シート 生涯学習】

		小区分	18	事務事業	34
施策名	情報の一元化				
事業名	生涯学習プログラムの構築	担当係	社会教育係		
事業の目的	生涯学習の推進を図る上で、全庁内でのイベント、施策などの情報を一元化。				
事業内容	生涯学習推進幹事会を構成し、各課からの情報提供を受けそのデータベース化を図る。				
達成状況	市のホームページ及びパンフレットを作成し、生涯学習情報として公開				
平成24年度 決算額(千円)	92				
事業の課題	今後、市のホームページなどで情報の一元化を図り、PR活動を行う。				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

19 出前講座

市役所職員による実施を可能とするため、十分な職員研修が必要であり、職員の資質の向上が必要です。

【点検・評価シート 生涯学習】

		小区分	19	事務事業	35
施策名	出前講座				
事業名	市役所職員による出前講座の実践	担当課	社会教育係		
事業の目的	行政施策、行政情報を学習プログラムとして構築。				
事業内容	行政サービスの内容を学習メニューとして構築し、公民館などの学習会等で必要に応じて提供する。パンフレットでも紹介。				
達成状況	各課で実施。				
平成24年度決算額(千円)	特に予算化は、していない。				
事業の課題	各課での工夫とPRが、必要。				
評価	C	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

【点検・評価シート 生涯学習】

		小区分	19	事務事業	36
施策名	出前講座				
事業名	ボランティアの派遣	担当係	社会教育係		
事業の目的	「知の循環」としてボランティアの活用を図る。				
事業内容	書道ボランティアや「はつらつ活動拠点事業」のボランティアを学校等に派遣。放課後児童クラブへの派遣も行っている。				
達成状況	書道ボランティアは小学校8校、放課後児童クラブへは8箇所へ派遣。また、リサイクル講座を実施。				
平成24年度決算額(千円)	721 (県費助成事業)				
事業の課題	派遣分野の拡大を図るため、ボランティアセンターの機能強化が必要。(専門部会を開き、意見を伺う。)				
評価	B	A 期待以上	B 期待どおり	C やや下回る	D 期待以下

豊前市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する意見

平成24年度豊前市教育委員会の掲げる主要施策の基本目標及び学校教育基本構想を達成するために行われた事業は、概ね適正に実施され、各係において予算内での創意工夫ある取組がなされている。教育委員会は、絶えず学校をはじめとする教育現場を市民の視点から巡察し、現状把握に努められたい。また、中長期的視点に立った教育振興の基本計画を常に見直し、その具現化に努力すべきと考える。

『学校教育』に関しては、小規模特認校の合岩小中学校合同運動会の実施が、小中縦割教育指導とPTA・地域との連携が図られた取組として高く評価する。今後もPTAのみならず一般市民からの意見を聞くなどして「地域に開かれた学校経営」へと発展させるべきものとする。今回の評価には無いが、理科講座事業が10年目で、児童にも好評であることから、理科教育の振興の為にも継続して取り組んでほしい。ICT授業関連は、昨今では目まぐるしく進歩しているため、適切な機器等の導入を図ってほしい。その他、学校給食における地場産品の活用や食文化やアレルギーの指導など、食育における事業はますます注目されるものと思うので、更なる活動をお願いしたい。

『社会教育』の青少年や社会人への支援事業等では、学校・各種団体や地域が有機的に連携し、うまく活動されている。事業ごとに“ねらい”をしっかりと定め幅広い年齢層へ成果があがるような取組をこれからも継続してほしい。

『スポーツ・レクリエーション』はいつでも・どこでも誰もがスポーツに親しめるように各施設の改善を図り、スポーツ指導者の育成と活躍の場を提供してほしい。

『文化財の保護と活用』は、国史跡「求菩提山」、「求菩提の農村景観」に代表される歴史遺産の豊かさを活かすため、地域の人材を活用した市独自の文化を醸成し、文化遺産の発掘に努められたい。そのためには、求菩提資料館及び埋蔵文化財センターを活用し、歴史遺産に関する展示などの普及活動を促進してほしい。

『芸術文化の振興』は、市美術展が10年を迎えたことは喜ばしい。小学校出前授業と新たな取組の学び支援事業で、子ども達が芸術とふれあう機会が増えている。今後も豊かな感性の生まれる場として事業を定着させてほしい。

『生涯学習』は、生涯学習推進基本計画において4つの重点目標を定めている。その中の1つ、「公民館の活性化」については専門部会の意見を反映し、公民館を地域づくりの拠点として位置づけて、再構築を図ってほしい。また「地域の力を活かす」についてはボランティアセンターの専門部会で意見を伺い、今のボランティアセンターを強化し、地域・学校・家庭が一体となって地域社会を再構築させる努力をしてほしい。

平成25年11月28日

谷 崎 勝
森 重 高 岑